

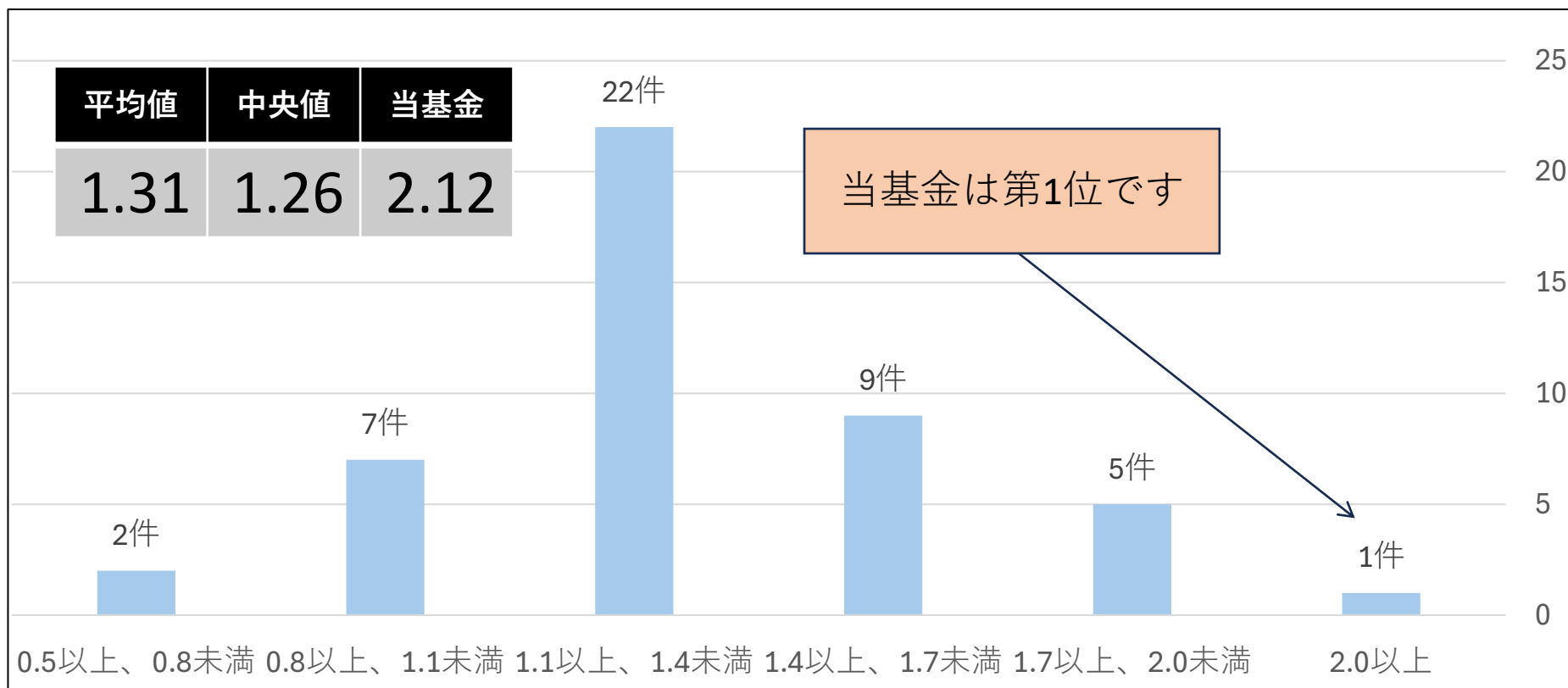
給付改善について  
補足ご説明

---

倉庫業企業年金基金  
令和6年8月28日

# 1.当基金の財政状況

当基金は給付のために維持すべき債務（数理債務）58億円に対し、123億円を保有しており、積立水準は2.12倍となっております。これは、総幹事である三菱UFJ信託銀行の総幹事先46件中1位であり、日本でもトップレベルの水準を維持しています。



## 2.財務面での現行との比較

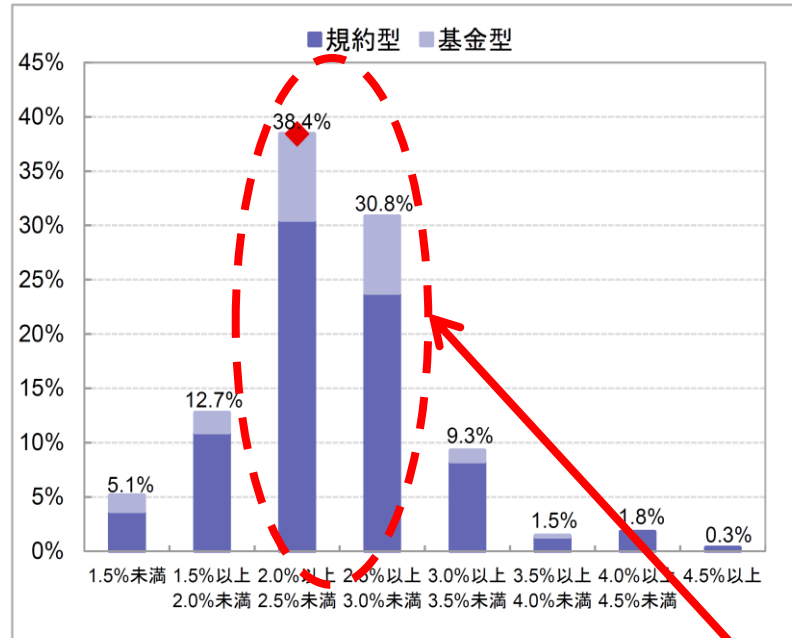
当基金は多額の別途積立金があるため、予定利率の引き上げ幅に比して、期待収益率を抑制することができます。

	予定利率	期待収益率	給付利率	標準掛金率	積立比率
変更前	2.0%	1.8%	2.0%	1.0%	2.12倍
変更後	2.9%	2.0%	3.5%	0.9%	2.06倍 (▲0.06倍)

予定利率と実際の期待収益率関係は具体的な例は以下のとおりです。  
50億円の資産を保有している場合は1億円の収益を獲得するには2%の運用実績が必要です。  
一方で100億円の資産を保有していれば、1億円の収益を獲得するには1%の収益で達成できます。  
当基金はこれと同じ原理で実際の運用目標を抑制することができます。

# 3. 予定利率の分布

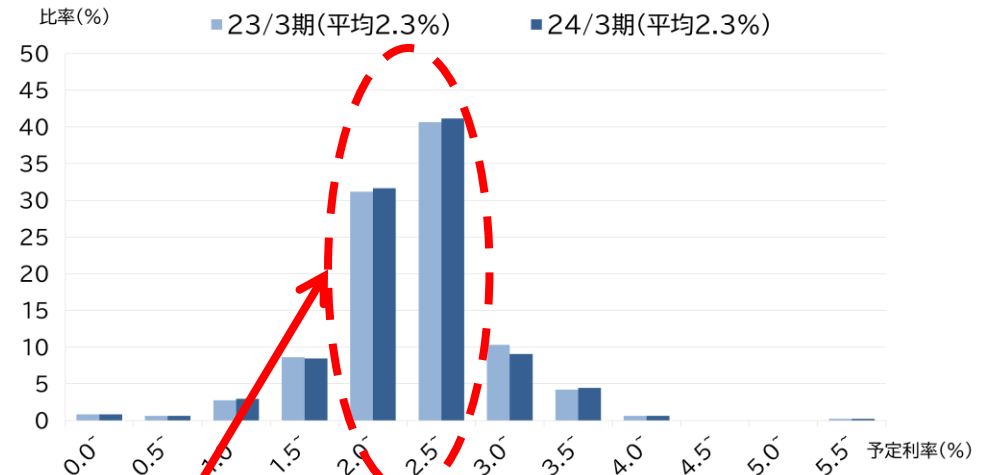
三菱UFJ信託銀行 総幹事先



※ 同一制度で予定利率が複数ある場合は最も低い率。

全体平均	基金型	規約型	お客様
2.20%	2.09%	2.23%	2.00%

三井住友信託銀行 総幹事先



※ グラフ中「1.0～」表中「1.0%以上」の欄は「予定利率1.0%以上1.5%未満」の割合を示しています。

いずれも令和5年3月期決算の数値です。  
 当基金は予定利率2.0%であり、低い水準に位置しますが、2.5%以上3.0%未満のDB  
 実施先も30~40%程度存在しており、3.0%までであれば、高い水準ではありません。

## 4.運用実績の推移

代行返上後の運用実績は以下のとおりです。

決算期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	幾何平均
期待収益率	2.20%	2.20%	2.20%	2.13%	1.80%	1.80%	1.80%	2.02%
時価ベース 利回り	4.43%	1.10%	▲3.35%	12.31%	1.78%	▲0.37%	8.60%	3.38%

上記のとおり、運用実績は予定利率2.0%を上回っており、3.0%程度までの水準であれば、実現可能な水準と言えます。

## 5. 給付改善の影響

---

- ① 今回の変更で2.12倍であった積立水準が2.06倍程度に低下する程度と試算しています。
- ② 掛金率の引き下げに関しては、予定利率を引き上げることで対応していますが、当基金は前述のとおり多額の別途積立金を保有しているため、運用リスクは予定利率の引き上げ幅ほどは高くなりません。
- ③ 新しい運用目標に対する計画は現在各方面と作成中です。
- ④ なお、標準掛金は予定利率（運用目標）のみで決まるわけではありません。当基金の人口ピラミッドが変化すると、上下に変動する可能性があることをご理解ください。